

# 島根県サイバーセキュリティ・オープンデータ研修会@西ノ島 開催レポート

R01.11.29 島根県地域振興部情報政策課

## 1. 概要

島根県は、令和元年11月22日（金）、島根県島前（どうぜん）集合庁舎（隠岐郡西ノ島町別府）において、県内自治体の職員を対象としたサイバーセキュリティ・オープンデータ研修会を開催しました。

オープンデータ研修の一部は、テレビ会議システムを活用して県内2箇所の中継しました。

### 【隠岐島前（どうぜん）地区】

- 西ノ島、中ノ島、知夫里（ちぶり）島の三島からなり、変化に富んだ美しい景観を見せています。
- 島前の西海岸には、国賀海岸の摩天崖（まてんがい）や知夫の赤壁（せきへき）に代表される勇壮な断崖など、海食断崖景観としてはわが国の海岸風景を代表するものであるといわれています。
- これらの断崖の上には隠岐特有の雄大な牧畑が広がり、牛や馬が放牧されて牧歌的な風景が展開しています。



## 2. 研修会の様子

### （1）サイバーセキュリティ研修（10：30～12：00）

情報セキュリティ関連企業から講師を招き、サイバー攻撃をめぐる現状について説明の後、セキュリティインシデントの発生を想定した机上訓練を実施しました。

本研修は、8名の参加がありました。

- 机上訓練は、実際のセキュリティ事故が起きた場合にどのように対応すべきか考えるものでした。
- 「ファイルを手勝手に暗号化するような不正通信を検知」、「ファイルサーバが開けない」等の発生した事象に対して、参加者が責任者など役割分担した立場で、優先すべき対応についてディスカッションを行いました。
- 参加者からは、「このような想定をしたことがなかったので、難しかった」、「どこで何を調べられるかなど把握できていないことに気づいた」といった感想があり、各々の課題や弱点のようなどころも気づきがあったようでした。

### サイバーセキュリティ研修の様子



↑ランサムウェアが見つかった場合、情報漏洩も疑うことが必要！？サイバー攻撃の最新動向を解説



↑予約検索でウイルス検出！ファイルサーバが開けない！限られた時間で対策を協議

## (2) オープンデータ研修 (13:15～16:45)

内閣官房オープンデータ伝道師である(株)三菱総合研究所 村上文洋氏を講師に招き、講演やグループディスカッションを実施しました。

本研修については、市町村職員が15名(隠岐4町村11名、テレビ会議で4名)、県職員が14名の計29名の参加がありました。

### ① 県の説明 ※テレビ会議で他庁にも中継

- 総務省が作成した動画「ゼロから始めるオープンデータ～地方公共団体の皆様へ～」(<https://www.opendata-training.org/>で公開中)を視聴し、理解を深めました。
- 県からは、オープンデータの基本的な内容について解説。加えて、市町村と連携して公開したAEDのデータが民間サービスで実際に使われた事例を紹介しました。



### ② 講演 ※テレビ会議で他庁にも中継

- 講師の村上氏には、「データ活用で変わる社会～AI等の新技術を活用した行政サービス改革～」と題して90分間講演いただきました。
- なぜオープンデータに取り組む必要があるのか、また、取り組みによって得られるメリット(例えば、自前主義を脱却することでコスト削減や行政サービスの向上につながる等)や国内外における事例を豊富に紹介いただきました。



↑「データ保有者とサービス提供者を分けると良いことばかり」オープンデータのメリットを熱弁する村上氏

### ③ グループディスカッション ～業務に役立つ（オープン）データについて考える～

- ディスカッションにより明らかにされた課題は、「日々たくさん来るメールの処理」、「会議の効率化」、「高齢者等への行政サービス提供のあり方」といったもので、自治体職員が日々直面する切実なものでした。

#### グループディスカッションの様子



↑ 誕生日順に整列！を競うアイスブレイク  
参加者からは笑顔がこぼれる



↑ 日々届く大量のメールを効率的  
かつ的確に捌きたい



↑ インターネットを利用しない高齢者に  
どう情報を届けるか

- 講師の村上氏は、「効率化の前になくせないかを考えてほしい」と講評。行政内部の連絡はメールではなくチャットにする。連絡だけの会議はチャット等での連絡で代替し、必要な会議もペーパーレス化して、事前に資料を共有する。その場で議事録を作成・共有して効率化する。会議ごとに参加者の人件費合計を示してコストを見える化する、といった提案がありました。



↑ AIスピーカー全戸配布を検討する自治体も  
あるという説明には「おお～」と声がる

- 定型業務にA I等を活用して効率化し、余裕ができた職員が高齢者等にきめ細やかに対応する、また、モバイルワーク化が進めば、住民が窓口に来るのではなく、職員が住民のところに出向くスタイルが変わっていく。将来的には役場が不要になる時代が来る可能性もある等、示唆に富んだアドバイスをいただきました。

### 3. 参加者の声

- オープンデータの必要性や重要性について理解することができた。
- 行政データを役場以外の人活用できるようになることは便利なことだと思う。県内でも広く普及すると良いと感じた。
- 行政情報を整理しオープンデータ化しておくことで、例えば国や県からの照会・調査への対応が楽になる等、業務の効率化につながると感じた。
- 人が減るため、デジタル化して生産性を向上する必要があるという点は、情報部門だけでなくいろいろな部署の職員にも広く知ってもらえると良かった。
- グループディスカッションはA I導入等による業務の効率化を考える良い機会になった。一方で、もう少し時間を取り、論点を絞って深く議論したかった。

等

#### 4. 今後の方針

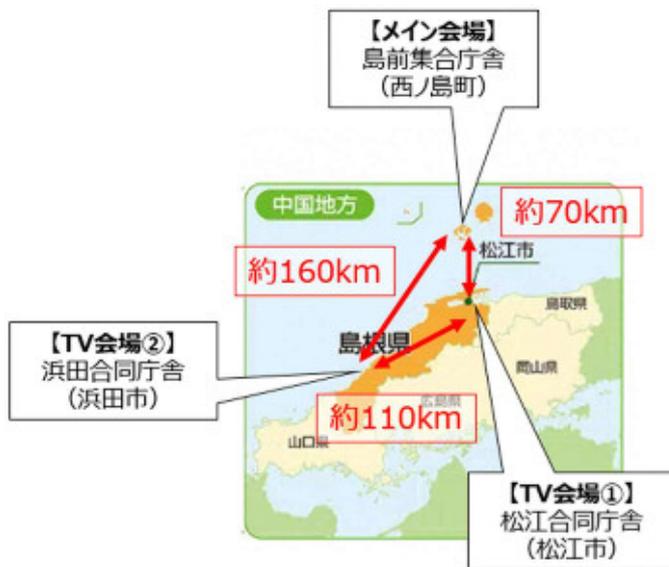
島根県では、県内市町村におけるオープンデータの推進を目的として、研修会等を今後も継続する予定です。今回の研修のように、県庁所在地である松江市での開催だけではなく、テレビ会議システム等も活用しながら、石見地域や隠岐地域の職員にも研修の機会を確保していきたいと考えています。

##### ※ 研修資料をオープンデータ化しています

オープンデータ研修で使用した島根県の資料は、「島根県オープンデータカタログサイト」において、出典が記載されているものを除いて CC-BY ライセンス（出所明記で自由に二次利用可能な規約のこと）で公開しています。（<https://shimane-opendata.jp/>）  
 ぜひ一度ご覧ください！

##### ※ テレビ会議システムによる他拠点同時開催の様子

オープンデータ研修では、県が働き方改革の一環として導入したテレビ会議システムを活用し、講師による講演及び県の説明について、松江合同庁舎と浜田合同庁舎に中継しました。



(出所)地図は、島根県立地情報ポータルサイト・しまねスタイルより

##### 【テレビ会議による参加者の声】

- 今回のようなテレビ会議の活用は、隠岐～本土間の職員の移動時間が無くなるため負担軽減に効果がある。
- 研修中は、音声途切れることもあったが、説明内容を理解するには問題なかった。
- テレビ会議を通じたやりとりに慣れておらず、講師への質問がしにくかった。



↑ テレビ会議システム導入について説明する梅(とが)ネットワーク管理グループリーダー



↑ 「この曲線何か分かる人いますか？松江、浜田の方はどうですか？」マイクに向けて問いかける村上氏